

金融・法・税務研究センターは、現在社会の法律問題としてますます複雑化している金融・税務と法学研究をつなぐことを意識しながら、実務と理論の架け橋となる研究を進めています。そのために研究者のみならず、実務化との共同研究や、現実に生起している法律問題の先駆的研究もおこないます。20世紀後半から21世紀初頭において、単に産業を支えるインフラから、高度な金融商品を通じて自ら巨大な収益を獲得する金融立国の時代を迎えた金融の世界は、リーマンショックを機にそのあり方について根底から反省を迫られています。本センターは開設以来、金融の使命を成熟経済・高齢化社会におけるQOL (Quality of Life) の向上と位置づけ、高度金融技術を「身近な」仕組みに適用して新しい仕組みを作り上げるための研究を続けてきており、研究成果を生かして、実践的な社会的活動にも取り組んでいます。

主な研究テーマ

- QOL (Quality of Life) 金融に対する高度先端金融技術の開発
- 高度先端金融技術の住宅金融への適用
- ABL (Asset Backed Loan) と信託

金融ビジネスで活躍する社会人向けの人材育成プログラム

(立命館東京キャンパスで開催)

「金融と法」東京講座

金融の基本から先端金融技術までを総合的に学ぶ講座

税法連続公開東京講座

実務の最先端の内容をテーマとして取り上げた実務家向けの講座

センターとしての実績

主な研究協力機関

- 一般社団法人 移住・住み替え支援機構
- 日本政策投資銀行
- 財団法人 ベターリビング
- 東京国税局
- 中国人民大学・北京大学・香港上海銀行

刊行物

『金融と法 — 企業ファイナンス入門』大垣 尚司 (2010年 有斐閣)

センター長

大垣 尚司 (法学研究科・教授)

主な研究拠点

立命館大学 (衣笠キャンパス) 金融・法・税務研究センター

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス (衣笠) 内 金融・法・税務研究センター事務局

TEL: 075-465-8225 FAX: 075-465-8245 E-mail: fltc@st.ritsumeai.ac.jp

URL: <http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/re/k-rsc/flt/index.html>